

千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研修（仮）標準カリキュラム（案）

科目	内容	時間数
1 講義・演習		
ピアサポート専門員総論	ピアサポート専門員の意義、社会的役割、活躍できる職場及び基本的資質等について学ぶとともに、ピアサポートの基本的理念であるリカバリーとストレングスについて理解を深める。	4.5
コミュニケーション	ピアサポート専門員として求められるコミュニケーションの手法について、実践を交えて理解を深める。	3.5
ピアサポート専門員の専門性と基本的行動	ピアサポート専門員の持つ専門性並びに求められる基本的行動として守秘義務をはじめとする職場倫理の遵守、職場内における信頼関係の構築、職場での対立解消の方法及び各種書類作成等について理解を深める。	3.5
ピアサポート専門員としての職業準備性と事業者（使用者）に求められること	ピアサポート専門員として働くにあたり準備すべきことや、事業者（使用者）として求められる合理的配慮及び職場での受け入れ準備のポイント等について理解を深める。	2
ピアサポート専門員として働き続けるために必要なこと	ピアサポート専門員として働き続けるための重要な視点として、バウンダリー（他者との境界線）についての理解を深める。	2
精神疾患についての基礎知識	精神疾患のうち、統合失調症、双極性障害などについての基礎知識を学ぶとともに、現在の薬物療法、社会心理療法などについての動向の理解を深める。	2.5
実習の心得	精神科病院やクリニック及び障害福祉サービス事業所等で実習をする際の留意点等を理解する。	1
精神保健医療・福祉に関する制度の概要	精神保健福祉法、障害者総合支援法等関連法規に基づく制度の概要を理解する。	2
心理教育及び有効的な自己対処方法（SST、当事者研究、WARP等）	自らの病状の把握やストレスへの対処法、及び自己対処におけるさまざまな方法（SST、当事者研究、WARP等）を学ぶとともに、心理教育の有効性について理解を深める。	2.5

現役ピアサポート専門員の講演及び意見交換	実際に働いているピアサポート専門員の業務内容や経験談を聞き、質疑・意見交換を行うことにより、ピアサポート専門員への理解を深める。	1
チームでの協働とケース会議	グループワークを通じてケース会議を体験することにより、チームでの協働の手法やその重要性を理解する。	3
リカバリーストーリー	自分の病気について開示し、他者に語り（リカバリーストーリー）が、支援対象者に希望を与え、いち早く信頼関係を築くなどの効果があることを学び、その重要性を理解する。	1.5
まとめ	グループワークにより、これまで学んだ内容要点を確認するとともに、自らのピアサポート専門員としてのあり方を考える。	1
小計		30
2 実習		
実習	精神科病院、デイケア及び障害福祉サービス事業所等での実習	120
小計		120
合計		150